(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

FΙ

(11)特許出願公開番号

特開平6-125301

(43)公開日 平成6年(1994)5月6日

(51)Int.Cl.5

識別記号

庁内整理番号

技術表示箇所

H 0 4 B 7/26 109 H 7304-5K

9297-5K

H.0 4 M 1/00 R 7117-5K

審査請求 有

請求項の数2(全 7 頁)

(21)出願番号

特願平5-99028

(22)出願日

平成5年(1993)4月26日

(31)優先権主張番号 特願平4-215873

(32)優先日

平4(1992)8月13日

(33)優先権主張国

日本 (JP)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 小林 健男

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式

会社内

(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

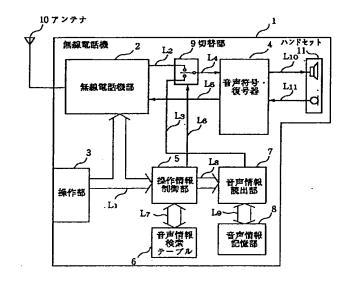
(54)【発明の名称】 無線電話機

(57) 【要約】

(修正有)

【目的】ディジタル通話機能で使用する音声符号・復号 器を利用して音声合成機能を実現させ、操作情報の音声 化のためのメモリ容量を従来に比べて少なくする。

【構成】使用者が操作部3に対して操作を行なった場 合、操作情報制御部5は、操作信号L 基づいてその操 作情報を検出し、切替制御信号L。によって切替部9を 制御し、符号化音声信号L、とし、さらに、検出信号L , に基づいて声情報検索テーブル6から操作情報と対応 づけて記憶している音声情報先頭アドレスを検索し、そ の先頭アドレスを音声情報読出部7に出力する。音声情 報読出部7は入力される先頭アドレスに基づいて音声情 報記憶部8から予め記憶されている符号化された音声情 報を読出し、符号化音声信し、、し、を音声符号・復号 器4へ出力し、音声符号・復号器4は符号化された音声 信号をアナログ音声信号し、に復号してハンドセット1 1 に出力する。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

 $\int_{\mathbb{R}^3} | f_{\mu_{\mu}} |$

【請求項1】 符号化された音声の無線信号の送受信を 行う無線電話機部と、アナログの音声の送受信を行うハ ンドセットと、前記無線電話機部からの符号化された音 声を復号化して前記ハンドセットへ送出しかつ前記ハン ドセットからのアナログの音声を符号化して前記無線電 話機部へ送出する音声符号・復号器と、複数の操作情報 を入力する操作部と、予め定められた複数の符号化され た音声情報を記憶する音声情報記憶部と、前記複数の操 作情報のそれぞれに対応する符号化された音声情報の数 10 とその符号化された音声情報を前記音声情報記憶部から 読出す予め定められた順番の各各の先頭アドレスとを記 億する音声情報検索テーブルと、前記音声情報記憶部か らの符号化された音声情報を読出す音声情報読出部と、 前記音声情報読出部からの符号化された音声情報及び前 記無線電話機部からの符号化された音声を選択的に出力 する切替部と、前記操作部から入力された前記操作情報 に従って前記音声情報検索テーブル、音声情報読出部及 び切替部を制御する操作情報制御部とを備えることを特 徴とする無線電話機。

【請求項2】 符号化された音声の無線信号の送受信を 行う無線電話機部と、アナログの音声の送受信を行うハ ンドセットと、前記無線電話機部からの符号化された音 声を復号化して前記ハンドセットへ送出しかつ前記ハン ドセットからのアナログの音声を符号化してデジタル音 声信号とて送出する音声符号・復号器と、複数の第1及 び第2の操作情報を入力する操作部と、予め定められた 複数の符号化された音声情報及び前記デジタル音声信号 を記憶する音声情報記憶部と、前記複数の第1の操作情 報のそれぞれに対応する符号化された音声情報の数とそ 30 の符号化された音声情報を前記音声情報記憶部から読出 す予め定められた順番の各各の先頭アドレスとを記憶す るとともに前記操作部から入力された前記複数の第2の 操作情報による前記デジタル音声信号に対する書込順序 情報とその書込順序情報に対応して前記音声情報記憶部 の記憶領域の先頭アドレス及び最終アドレスとを記憶す る音声情報検索テーブルと、前記音声情報記憶部からの 符号化された音声情報及び前記デジタル音声信号を読出 しかつ前記音声情報記憶部へ前記デジタル音声信号を書 込む音声情報読出・書込部と、前記音声情報読出・書込 40 部からの符号化された音声情報及び前記無線電話機部か らの符号化された音声を選択的に出力する第1の切替部 と、前記音声符号・復号器からの前記デジタル音声信号 を前記無線電話機部及び前記音声情報読出・書込部に選 択的に出力する第2の切替部と、前記操作部から入力さ れた前記第1及び第2の操作情報に従って前記音声情報 検索テーブル, 音声情報読出・書込部及び第1, 第2の 切替部を制御する操作情報制御部とを備えることを特徴 とする無線電話機。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は無線電話機に関し、特に デジタル通話機能を有する無線電話機に関する。

[0002]

【従来の技術】図6に示すように、従来の無線電話機1 aは、アンテナ10及び無線電話機の機能を有する無線 電話機部2aの他に、音声合成部12と、ハンドセット 11に出力する音声信号を音声合成部12の出力と通話 時の通話情報とに切替える切替部9とを有し、音声合成 部12は、使用者が操作部3から入力する操作情報を検 出し、切替部9を制御して音声合成部12からの操作情 報に対応するアナログ音声信号をハンドセット11へ送 出する。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】この従来の無線電話機 は、操作情報に対応するアナログ音声を音声合成部を利 用して送出する構成となっているので、操作情報が多く なるとそれに対応するアナログ音声を合成するために、 音声合成部のメモリ容量が増大するという問題点があ る。

[0004]

20

【課題を解決するための手段】本発明の無線電話機は、 符号化された音声の無線信号の送受信を行う無線電話機 部と、アナログの音声の送受信を行うハンドセットと、 前記無線電話機部からの符号化された音声を復号化して 前記ハンドセットへ送出しかつ前記ハンドセットからの アナログの音声を符号化して前記無線電話機部へ送出す る音声符号・復号器と、複数の操作情報を入力する操作 部と、予め定められた複数の符号化された音声情報を記 億する音声情報記憶部と、前記複数の操作情報のそれぞ れに対応する符号化された音声情報の数とその符号化さ れた音声情報を前記音声情報記憶部から読出す予め定め られた順番の各各の先頭アドレスとを記憶する音声情報 検索テーブルと、前記音声情報記憶部からの符号化され た音声情報を読出す音声情報読出部と、前記音声情報読 出部からの符号化された音声情報及び前記無線電話機部 からの符号化された音声を選択的に出力する切替部と、 前記操作部から入力された前記操作情報に従って前記音 声情報検索テーブル、音声情報読出部及び切替部を制御 する操作情報制御部とを備えている。

【0005】また、本発明の無線電話機は、符号化され た音声の無線信号の送受信を行う無線電話機部と、アナ ログの音声の送受信を行うハンドセットと、前記無線電 話機部からの符号化された音声を復号化して前記ハンド セットへ送出しかつ又前記ハンドセットからのアナログ の音声を符号化してデジタル音声信号とて送出する音声 符号・復号器と、複数の第1及び第2の操作情報を入力 する操作部と、予め定められた複数の符号化された音声 情報及び前記デジタル音声信号を記憶する音声情報記憶

50 部と、前記複数の第1の操作情報のそれぞれに対応する

符号化された音声情報の数とその符号化された音声情報 を前記音声情報記憶部から読出す予め定められた順番の 各各の先頭アドレスとを記憶するとともに前記操作部か ら入力された前記複数の第2の操作情報による前記デジ タル音声信号に対する書込順序情報とその書込順序情報 に対応して前記音声情報記憶部の記憶領域の先頭アドレ ス及び最終アドレスとを記憶する音声情報検索テーブル と、前記音声情報記憶部からの符号化された音声情報及 び前記デジタル音声信号を読出しかつ前記音声情報記憶 部へ前記デジタル音声信号を書込む音声情報読出・書込 10 部と、前記音声情報読出・書込部からの符号化された音 声情報及び前記無線電話機部からの符号化された音声を 選択的に出力する第1の切替部と、前記音声符号・復号 器からの前記デジタル音声信号を前記無線電話機部及び 前記音声情報読出・書込部に選択的に出力する第2の切 替部と、前記操作部から入力された前記第1及び第2の 操作情報に従って前記音声情報検索テーブル、音声情報 読出・書込部及び第1, 第2の切替部を制御する操作情 報制御部とを備えている。

[0006]

4

【実施例】次に、本発明について図面を参照して説明す る。

【0007】図1は本発明の第1の実施例を示すブロック図である。

【0008】図1に示す無線電話機1は符号化された音 声の無線信号の送受信をアンテナ10を介して行う無線 電話機部2と、アナログの音声の送受信を行うハンドセ ット11と、無線電話機部2からの符号化された音声を 復号化してハンドセット11へ送出し、又ハンドセント 11からの音声を符号化して無線電話機部2へ送出する 30 音声符号・復号器4と、操作情報を入力する操作部3 と、予め定められた固定パターンの複数の符号化された 音声情報を記憶する音声情報記憶部8と、複数の操作情 報のそれぞれに対応する符号化された音声情報の数とそ の符号化された音声情報を読出す予め定められた順番の 各各の先頭アドレスとを記憶する音声情報検索テーブル 6と、音声情報記憶部8からの符号化された音声情報を 読出す音声情報読出部7と、音声情報読出部7からの符 号化された音声情報か、又は無線電話機部2からの符号 化され音声かを切替えて出力する切替部9と、操作部3 からの操作情報に従って音声情報検索テーブル6、音声 情報読出部7及び切替部9を制御する操作情報制御部5 とを有して構成している。

【0009】図2は第1の実施例における固定パターンの複数の符号化された音声情報の記憶構成の一例を示す図、図3は第1の実施例における複数操作情報に対応する符号化された音声情報の数と、各各の先頭アドレスとの記憶例を示す図である。図3に示す音声情報検索テーブル6は操作部3から入力される操作情報1,2,…,

(m-1), mに対応して図2に示す音声情報記憶部8

に記憶されているそれぞれの使用する符号化された音声 情報の数と先頭アドレスとを読出す順番に記憶してい る。

【0010】次に、第1の実施例の動作について図1,図2及び図3を参照して説明する。

【0011】使用者が操作部3から予め定められた操作 情報を入力すると、操作情報制御部5は操作部3から、 例えば、予め機能の設定が固定化されている機能キーの 一つを押下することにより操作信号し、を検出し、まず 切替部9を音声情報読出部7からの符号化音声信号し、 を出力するべく制御する。次に、操作情報制御部5は操 作信号し、に対応する検索信号し、を音声情報検索テー プル6に送出し、検索信号し、に対応する読出操作情報 の音声情報先頭アドレスを記憶数だけ順次検索し、検索 したアドレス信号し、を音声情報読出部7へ送出する。 音声情報読出部7は入力される音声情報先頭アドレスに 基づいて音声情報記憶部8へ制御信号L。を送出し、音 声情報記憶部8からの符号化された音声信号L、を切替 部9を通し音声信号L、として音声符号・復号器4へ送 出する。音声符号・復号器4では入力した符号化された 音声信号し、をアナログ音声信号し、に復号してハンド セット11へ送出する。これによって押下された機能キ ーノ機能内容を音声で聞くことができる。

【0012】尚、ハンドセット11の送話器からのアアナログ音声信号Lilは音声符号・復号器4で符号化され符号化音声信号L。として無線電話機部2へ送出される

【0013】次に、本発明の第2の実施例について説明 する。

【0014】図4は本発明の第2の実施例を示すプロック図、図5は第2の実施例における音声情報検索テープル内の複数の書込操作情報に対するデジタル音声信号の各各の先頭アドレス及び最終アドレスの記憶例を示す図である。

【0015】図4に示す無線電話機21は、図1に示す 実施例と同じ構成要件には同一番号が付与されてあり、 異なる構成要件として、複数の読出操作情報及び複数の 書込操作情報を入力する操作部3 a と、予め定められた 複数の符合化音声情報及びハンドセット11からのアナ ログ音声が音声符号・復号器4で符号化されたデジタル 音声信号を記憶する音声情報記憶部8aと、複数の読出 操作情報のそれぞれに対応する符号化音声情報の数とそ の符号化音声情報を音声情報記憶部8 a から読出す予め 定められた順番の各各の先頭アドレスとを記憶するとと もに複数の書込操作情報によるデジタル音声信号に対す る書込順序情報とその書込順序情報に対応して音声情報 記憶部8aの記憶領域の先頭アドレス及び最終アドレス とを記憶する音声情報検索テーブル 6 a と、音声符号・ 復号器4からのデジタル音声信号を無線電話機2か又は 音声情報読出・書込部7aへ切替えて出力する切替部9

6

aと、操作部3aからの読出操作情報及び書込操作情報 に従って無線電話機21の音声情報検索テーブル6a、 音声情報読出・書込部7a及び切替部9,9aを制御す る操作情報制御部5aとを有する構成となっている。

【0016】次に、第2の実施例の動作について、図4及び図5を参照して説明する。音声情報記憶部8aから予め定められた符号化音声情報の読出しの動作は、第1の実施例の場合と同じなので、省略する。操作部3aの中の機能を任意に設定できる自由機能キーの一つを押下し、押下した自由機能キーの機能設定の内容説明として、ハンドセット11の送話器から入力られたアナログ音声を音声情報として利用できるようにするために、そのアナログ音声を符号化してデジタル音声信号で音声情報記憶部8aに記憶する場合について以下に説明する。

【0017】無線電話機21の使用者がハンドセット1 1の送話器からのアナログ音声を符号化してデジタル音 声で音声情報記憶部8aに最初に記憶するために自由機 能キーの一つに対応して予め定められら書込操作情報と "1"とを操作部3aから入力する。音声情報制御部5 aは操作部3aからの操作信号L...を検出し、まず、切 20 替部9aを音声符号・復号器4からの符号化音声信号を 音声情報読出・書込部7aへ出力すべく切替制御信号L...を出力する。

【0018】次に、操作情報制御部5aは操作信号L₁、に対応して音声情報検索テーブル6aから音声情報記憶部8aの空きの記憶領域を検出し、その空きの記憶領域の先頭アドレスを、図5に示すように、音声情報検索テーブル6aに記憶すると共に、この記憶領域先頭アドレスから順次アドレスを音声情報読出・書込部7aへ送出する。

【0019】音声情報読出・書込部7aは、ハンドセット11の送話器から入力されたアナログ音声が音声符号・復号器4によって符号化音声情報L。となり、それをデジタル音声信号L。として音声情報読出・書込部7aは音声情報記憶部8aに記憶して行く。操作部3aから書込操作情報の"1"に対する終了の操作情報が入力されると、操作情報制御部5aは音声情報読出・書込部7aに対し書込の動作を停止させ、音声情報検索テーブル6aに、図5に示すように、自由機能キーの一つに対応して書込操作情報の"1"に対する記憶領域の最終アド40レスを記憶して、書込操作情報の"1"に対する記憶領域の最終アド40レスを記憶して、書込操作情報の"1"に対する書込動作は終了する。これによって自由機能キーの設定した機能内容が音声情報記憶部8aに記憶される。

【0020】次に、別の自由機能キーに設定したい機能 内容に対しての新らしいデジタル音声信号を音声情報記 憶部8aに記憶する場合には、上述と同様に操作部3a の別の自由機能キーの押下することよる書込操作情報と "2"とを入力して行う。

【0021】音声情報記憶部8aに既に記憶されている デジタル音声信号を読出す場合には、例えば、書込操作 50 情報の"1"で記憶されているデジタル音声信号を読出す場合には、最初に機能設定した自由機能キーと読出キーとを操作部3aから入力することにより、第1の実施例の場合とほぼ同様な動作によって、自由機能キーの機能設定内容をハンドセット11の受話器で聞くことができる。

[0022]

【発明の効果】以上説明したように本発明は、符号化さ れた音声の無線信号の送受信を行う無線電話機部と、ア 10 ナログの音声の送受信を行うハンドセットと、無線電話 機部からの符号化され音声を復号化してハンドセットへ 送出しかつハンドセットからのアナログの音声を符号化 して無線電話機部へ送出する音声符号・復号器と、複数 の操作情報を入力する操作部と、予め定められた複数の 符号化された音声情報を記憶する音声情報記憶部と、複 数の操作情報のそれぞれに対応する符号化された音声情 報の数とその符号化された音声情報を音声情報記憶部か ら読出す予め定められた順番の各各の先頭アドレスを記 憶する音声情報検索テーブルと、音声情報記憶部からの 符号化された音声情報を読出す音声情報読出部と、音声 情報読出部からの符号化された音声情報及び無線電話機 部からの符号化された音声を選択的に出力する切替器 と、操作部から入力された操作情報に従って各部を制御 する操作情報制御部とを備えることにより、音声符号・ 復号器を音声合成器として利用できるので従来の音声合 成器を利用する場合に比べて操作情報の増加に対する音 声情報のメモリ容量を減少させることができる効果があ

【0023】また、音声情報記憶部から符号化された音声情報及びハンドセットからのアナログ音声を音声符号・復号器で符号化されて記憶されたデジタル音声信号を読出しかつ音声情報記憶部へデジタル音声信号を書込む音声情報読出・書込部と、音声符号・復号器からのデジタル音声信号を無線電話機部及び音声情報読出・書込部に選択的に出力する第2の切替部とを有することにより、例えば、操作部内の任意に機能を設定できる自由機能キーにある機能を設定した場合に、設定した機能内容を音声情報部に記憶し、且つあとでその機能内容を読出してアナログ音声で聞くことができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例を示すブロック図である。

【図2】第1の実施例における音声情報記憶部内の固定 パターンの複数の符号化された音声情報の記憶構成の一 例を示す図である。

【図3】第1の実施例における音声情報検索テーブル内の複数の読出操作情報に対応する符号化された音声情報の数と、各各の先頭アドレスとの記憶例を示す図である。

【図4】本発明の第2の実施例を示すブロック図であ

る。

【図5】本第2の実施例における音声情報検索テーブル 内の複数の書込操作情報に対応するデジタル音声信号の 各各の先頭アドレス及び最終アドレスの記憶例を示す図

【図6】従来の無線電話機の一例を示すブロック図であ

【符号の説明】

1, 21 無線電話機

2. 無線電話機部

3, 3 a 操作部

4 音声符号・復号器

5,5a 操作情報制御部

6, 6 a 音声情報検索テーブル

7 音声情報読出部

7 a 音声情報読出・書込部

8, 8 a 音声情報記憶部

9, 9a 切替部

1 0 アンテナ

1 1 ハンドセット

1 2 音声合成部

Li, Li, 操作信号

L, , L, , L, , L, , L, , 产 符号化音声信

10 L, L, 切替制御信号

> L, , L, 検索信号

L. L. アドレス信号

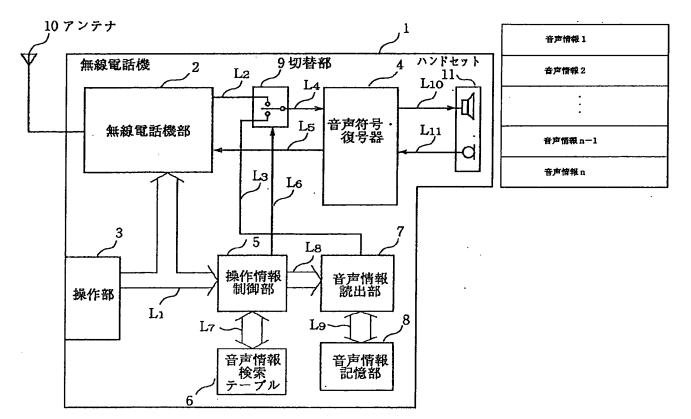
L, , L, 制御信号

L10, L11 アナログ音声信号

[図1]

e i jarten

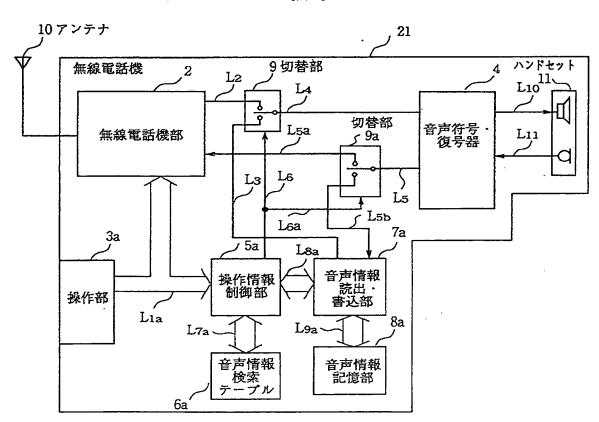
【図2】



[図3]

読出操作情報 番号	記憶数	使用する音声情報の先頭アドレス	
読出 操作情報 1	6	音声情報 l 先頭アドレス	音声情報2先頭7ドレス…
読出 操作情報 2	5	音声情報 7 先頭アドレス	音声情報 10 先頭7ドレス…
'	•	•	
'	•	•	
,	•	• 	<u>.</u>
読出 操作情報 m-1	. 4	音声情報 11 先頭アドレス	音声情報 12 先頭アドレス…
読出 操作情報 m	7	音声情報 i 先頭アドレス	音声情報(i+1) 先頭アドレス・・・

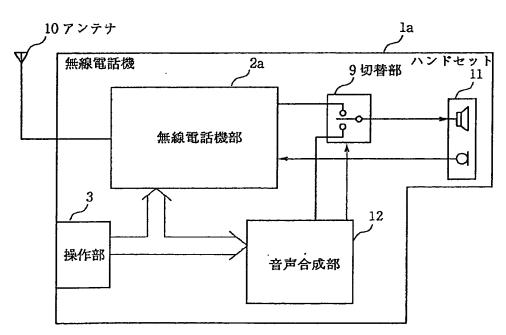
【図4】



【図5】

書込操作情報	デジタル音声信号記憶領域情報		
番号	記憶領域先頭アドレス	記憶領域最終アドレス	
書込操作情報1	音声情報 1 先頭アドレス	音声情報1最終アドレス	
書込操作情報2	音声情報 2 先頭アドレス	音声情報 2 最終アドレス	
書込操作情報 m─1	音声情報 m-1 先頭アドレス	音声情報 m-1 最終アドレス	
書込操作情報 m	音声情報 m 先頭アドレス	音声情報 m最終アドレス	

[図6]



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:		
☐ BLACK BORDERS		
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES		
☐ FADED TEXT OR DRAWING		
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING		
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES		
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS		
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS		
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT		
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY		

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.